

## 令和3年度第1回国立大学法人山梨大学医学部附属病院監査委員会報告書

国立大学法人山梨大学医学部附属病院監査委員会細則第3条に基づき、監査を実施いたしましたので、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法

山梨大学医学部附属病院における医療安全に係る業務の状況について、以下のとおり管理者等からの聴取及び資料の閲覧等の方法によって説明を求めることにより、監査を実施した。今回の監査も昨年と同様、Web会議方式にて開催された。

日時：令和3年10月14日（木）17：30～19：20

場所：山梨大学医学部管理棟2階中会議室及びWeb会議

委員長：矢野 真（日本赤十字医療事業推進本部総括副本部長）

委員：甲光俊一（こうみつ法律事務所弁護士）（副委員長）

保坂 武（甲斐市市長）

説明者：榎本病院長、木内医療安全管理責任者、荒神副医療の質・安全管理部長、松川医療機器安全管理責任者、河田医薬品安全管理責任者、中島高難度新規医療技術部門長、大西医療放射線安全管理責任者、伊藤GRM、齋藤監事、八巻監事、野中事務部長、中村監査課長、土屋総務課長、窪田医事課長、根本医事課長補佐、保坂医事課専門員、大和総務課長補佐

### 2. 監査項目と結果

#### 〔1〕医療安全管理責任者の業務の状況について

医療安全管理責任者として、11月末に予定している病院機能評価受審を契機に、病院機能を高め、改善していくことに重点を置いて取り組んできたこと、病院機能改善委員会を設置し、各評価項目における問題提起から改善方法を検討する仕組みを構築していたことが、資料に基づき報告があった。

具体的に改善点を洗い出して取り組んでおり、適切に対応していることが確認された。受審時の指摘事項も参考に、今後もこの活動を継続することが期待される。

#### 〔2〕医療安全管理部門の業務の状況について

##### (1) 患者誤認対策について

患者確認防止のため、患者確認の徹底を図っている。7月の調査において、一部に徹底が不十分な職種、部署が見られたが、全体的にはかなり浸透してきており、引き続き徹底を強化していく旨、資料に基づき報告があった。周知徹底が進んでいることが確認されたが、全職員が習慣化することが望まれる。

##### (2) 画像診断及び病理診断の確認状況について

画像診断及び病理診断の確認状況について、昨年度に引き続き概ね 100%となっている旨、資料に基づき報告があった。また、放射線診断レポートについては、早期対応が必要な場合は、対応したことを確認する仕組みとしたこと、病理診断レポートについては、悪性所見に関しカルテ記載内容まで確認することとした旨、併せて報告があった。近年、大きな問題となっている画像/病理診断レポートの見逃しに対して、積極的に取り組まれていることが確認された。

(3) 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品・医療機器等を用いた医療実績について

前回の監査委員会で指摘された高難度新規医療技術の実施報告については、実施時、退院時、退院後半年後及び有害事象発生時に報告する仕組みとし、「実施確認及び周知手順」を定め、毎月 1 回医事課で実施件数を把握・確認する、過去に実施したものであっても精通した医師の異動時や前回実施から概ね 1 年以上の期間をおいた後の実施の場合等、改めて申請するなど、体制や仕組みを改善したことが、資料に基づき報告があった。また、医薬品の国内未承認新規医薬品申請について、資料に基づき報告があった。適切に改善が進んでいることが確認された。

(4) 医薬品適応外使用申請実績について

医薬品の適応外使用にかかる申請実績について、資料に基づき報告があり、問題がないことを確認した。

(5) インシデント発生報告の状況について

インシデント発生報告の状況について、資料に基づき報告があり、報告数の増加を確認した。

(6) 状況報告書の検討状況について

状況報告書の検討状況について、資料に基づき報告があり、検討状況に問題がないことを確認した。

(7) 医療安全内部通報について

医療安全内部通報 1 件に対し、対応した旨の報告があり、対応に問題がないことを確認した。

(8) 入院患者死亡・死産の確認状況について

入院患者死亡・死産報告状況について、資料に基づき報告があり、内容に問題がないことを確認した。

(9) 院内ラウンドの実施状況について

院内ラウンドの実施状況について、資料に基づき報告があり、調査結果を確認した。

以上、それぞれの報告制度が適切に機能していることが確認された。

[3] 医療安全管理委員会の業務の状況について

(1) 安全管理委員会開催状況について

安全管理委員会開催状況及び委員の出席状況について、資料に基づき報告があり、適切に開催されていることが確認された。

(2) M&Mカンファレンスの実施状況について

M&Mカンファレンスは状況報告書をもとに安全管理部が指定して、重要事例に対し実施している旨、資料に基づき報告があった。

(3) 安全文化アンケートについて

今年度から日本医療機能評価機構が提供している Web 形式のアンケート調査に参加したが、回答数が少ない状況となっており、回答期限の延長も考慮している旨、資料に基づき報告があった。用紙の回収を伴わない自主的な web アンケートに全職員が回答するには工夫が必要と思われるが、重要な調査であり、各部署からの回答数を増やし、アンケート結果の分析を安全文化のさらなる向上につなげられたい。

[4] 医薬品安全管理責任者の業務の状況について

(1) 医薬品安全小委員会開催状況について

医薬品安全小委員会開催状況について、2か月に一度の頻度で開催している旨、資料に基づき報告があり、適切に開催されていることが確認された。

(2) 医薬品安全使用のための点検の実施状況について

前回の監査委員会で指摘された評価点3点台の項目は、個別に指導を行っており、原因を解析しながら評価点の改善に努めている旨、資料に基づき報告があった。口頭指示メモについて、院内の共通様式を改訂し、周知を進めている旨の説明があった。一部の部署の独自様式を早急に院内共通様式に統一し、周知徹底を図られたい。また、各病棟には基本的に常備薬を置かない方向で調整している旨の説明があった。薬剤師の監査が機能する仕組みが望まれる。

[5] 医療機器安全管理責任者の業務の状況について

(1) 医療機器安全小委員会開催状況について

医療機器安全小委員会の開催状況について、2か月に一度の頻度で開催している旨、資料に基づき報告があり、適切に開催されていることが確認された。

(2) 医療機器整備、点検、研修等の実施状況等について

医療機器整備、点検の実施状況、医療機器に係る研修の実施状況について、資料に基づき報告があった。診療科等で購入した機器等についても、一元管理の体制を構築しているところである旨の説明があった。さらなる徹底に期待したい。

(3) 医療機器に係るインシデントの把握と対処等について

医療機器に係るインシデントの把握と対処等について、資料に基づき報告があり、医療機器小委員会において検討を行っている旨の説明があった。モニターアラームの対応に関する問題は、安全管理部と各部署が連携して検討していることであった。

[6] 医療放射線安全管理責任者の業務の状況について

(1) 診療用放射線安全管理小委員会開催状況について

診療用放射線安全管理小委員会の開催状況について、昨年度は1月及び3月、今年度は9月に開催した旨、資料に基づき報告があり、患者への被ばくについて、マニュアル、説明資料等の検討、医療用放射線被ばく相談への対応報告、研修の実施状況等の確認を行った旨、説明があった。適切に開催されていることが確認された。

(2) 診療用放射線の安全使用のための職員研修について

診療用放射線の安全使用のための職員研修は、今年度もe-ラーニングで開催していること、前年度の受講率は100%で、現時点では受講対象者の84%に留まっているため、年度内の受講を促し、100%としたい旨、資料に基づき報告があった。

[7] 新型コロナウイルス感染症対応について

新型コロナウイルス感染症への対応として、大阪府や沖縄県への看護師派遣、貴重な事例の経験報告、ワクチン接種への貢献及び2カ所の医療強化型宿泊療養施設の運営等、最近の取り組みについて、資料に基づき報告があった。大変幅広く対応し、全国的にも地域的にも大学病院が一丸となって貢献していることが確認された。今後も県民への啓蒙活動も含め、地域への貢献を継続されたい。


### 3. 総括


新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今回の監査委員会も昨年と同様 Web 会議形式を併用して開催しました。特定機能病院に求められている医療安全管理体制は適切に構築され、十分機能していることが確認されました。また、新型コロナ感染症への対応も積極的

に行われ、大学病院として十分責任を果たしていると思われました。病院機能評価や安全文化のアンケート調査等も利用しながら改善に取り組む姿勢は高く評価されます。医療安全管理部門や各小委員会活動等と現場の取り組みが一体となり、医療の質・安全のさらなる向上を全員参加で実現されることを期待いたします。

令和4年1月14日

国立大学法人山梨大学医学部附属病院監査委員会

委員長（自署） 矢野 真 

副委員長（自署） 甲光 俊一 

委員（自署） 保坂 武 